

令和5年5月31日



さかもと



さわやかに かがやいて もくひょうもって ともにあゆもう

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sakamoto/>

横浜市立坂本小学校 校長 荒井 正史

新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、学校活動のなかでも、少しずつ「日常」を取り戻しつつあります。先日は、5年生が調理実習を行いました。少し緊張した様子で、青菜を茹でたり切ったりして、みんなで出来上がったものを食べました。5月23日(火)、24日(水)は4年生が宿泊体験学習に出かけました。昨年の宿泊体験学習は、どの学年も黙食でしたが、今年ではみんなでバイキングの食事を楽しみました。水泳学習も、昨年は年2回に制限しましたが、今年は従来通りに戻り、学年で年5回(10時間)程度行います。

さまざまな制限が少しずつ解除され、生き活きと活動している子どもたちの姿がこれまでよりも多く見られるようになりました。本校では、こうした活動を支えてくださっているのが、地域、保護者、学生の学習ボランティアの皆さまです。

調理実習では、地域のボランティアの方々子どもたちを支援してくださいました。子どもたちの調理の様子を見守ってくださり、「包丁を持たない方の手はこうやって置くといいよ」などと声をかけてくださいました。宿泊体験学習では4人の大学生が参加し、さまざまな場面で子どもたちに声をかけてくれたり、サポートしたりしてくれました。低学年(1、2年生)の水泳学習では、区スポーツ推進委員の方々や地域の方々支援をしてくださいます。

本校では、多くの地域、保護者、学生、関係諸機関の方々学校の教育活動にかかわってくださり、子どもたちを支援してくださっています。先日、見守り隊の方々から「子どもたちが声をかけてくれるようになって楽しいです」「この前、ある子が心配事を相談してくれました」など、子どもたちの様子を教えてくださいました。ボランティアとして、朝や放課後の通学路に立ってくださっていることに感謝するとともに、子どもたちが見守り隊の皆さまを安心できる「拠り所」としていることに有難く思います。

坂本のまちは「おらがまちの子どもたち」として、子どもたちと一緒に育てようという土壌があると感じます。7月21日(金)の「ふれあい教室」では、たくさんの地域、保護者、関係諸機関の方々教室を開いてくれます。6月14日(水)には、ピアニストである久保智さんが演奏会を開いてくれます。7月から「ふんわりの会」の方々による読み聞かせがスタートします。横浜FCさんによるスマイルキャラバン(ボール教室)や選手による講演会(6年生)も始まります。横浜国立大学をはじめ10名以上の学生ボランティアの方々子どもたちの学びを支援してくださっています。

数多くの地域・保護者・学生・関係諸機関の方々と一緒に子どもたちを育てることができること、本当にありがとうございます。新型コロナウイルス感染拡大防止の制限がとれると、子どもたちの活動も広がります。学習ボランティアの皆さまが、こうした生き活きとした子どもたちの活動を支えてくださっていることに感謝いたします。皆さまのご協力・ご支援によって、坂本小学校の子どもたちが多くの方々に見守られている、支えられていると実感することは、子どもたちの将来の大きな糧となります。これからも引き続き、よろしくお願ひいたします。